

IV 機器利用上の注意事項

1 消耗品等の持ち込みについて

- ① 試験・分析等に必要な消耗品等のうち、必要最小限の消耗品等は当センターで用意しておりますが、実費負担を伴う消耗品等もございますので、ご確認のうえ、必要な消耗品等につきましては、できる限り持ち込みをご検討ください。

2 機器の利用方法について

- ① 機器の利用に際しましては、備え付けのメーカー等が発行する機器取扱説明書及び当センターが発行する機器取扱マニュアル等に従い、機器が滅失又は損傷することがないように、また、事故が発生しないよう細心の注意を払って操作してください。
- ② 機器取扱研修受講者は、研修内容に基づき操作をお願いいたします。
- ③ 機器利用中は、利用者において、常時機器の監視者を配置してください。
監視者が、やむを得ず機器から離れる場合は、機器使用中の旨を備え付けのホワイトボードに記入するとともに、緊急時の連絡先（携帯電話の番号等）を明示しておいてください。

3 実験廃液等の処理について

- ① 試験・分析等で使用・未使用に関わらず、不要となった原液・溶液又はこれらの保管容器や試験・分析等で使用した容器・器具等を洗浄した液体（以下「洗浄液」といいます。）及び産業廃棄物等（以下「実験廃液等」といいます。）については、次の区分を設けていますので、区分ごとに持ち帰り等により利用者で処理をお願いします。

- 〔区分〕
- a 重金属溶液
 - b 有機溶液
 - c 重金属・有機溶剤を含まない酸性溶液
 - d 重金属・有機溶剤を含まないアルカリ性溶液
 - e 現像液・定着液
 - f 研磨機等から発生する汚水
 - g 産業廃棄物
 - h 特別管理産業廃棄物

- ② ①の区分のうち、「a」「b」「e」については、原液・溶液及び洗浄液すべてについて回収し、持ち帰って処理してください。

なお、回収にあたっては、備え付けの回収容器（無料）をご利用ください。

- ③ ①の区分のうち、「c」と「d」については、原液・溶液及び1次・2次洗浄液については回収し、持ち帰って処理してください。3次洗浄水以降はセンターの排水処理設備において処理できますので、排水していただいて結構です。
- ④ ①の区分に該当しない実験廃液等及び「f」「g」「h」に区分されるものについては、持ち帰って処理してください。

「g」「h」に区分される産業廃棄物は、一般ゴミのゴミ箱には廃棄せず、必ず持ち帰って処理してください。

- ⑤ これらの実験廃液等の処理については、細心の注意を払って作業してください。
誤って回収すべき廃液を排水設備に流してしてしまった場合は、直ちに施設管理者に報告するとともに、その指示に従ってください。

4 原状回復について

- ① 利用された方の責めに帰すべき理由により、機器、設備、備品、消耗品等を滅失し、又は損傷された場合は、利用者の責任においてこれを原状に回復していただくか、又はこれに要する費用を負担していただくこととなりますのでご注意ください。
- ② 利用された機器、設備、備品、消耗品等については、その利用が終わった段階で、利用される前の初期状態に回復していただく必要があります。別途お渡しする機器チェックマニュアルに基づき原状に回復し、センター職員の確認を受けてください。

5 利用時の事故について

- ① 開放型試験・分析室内における利用者の責めに帰すべき理由による事故については、当センターとしては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

6 その他について

- ① この手引きに記載されていない内容について、疑義が生じた場合は、センター職員まで申し出てください。

連 絡 先

〒 678-1205 兵庫県赤穂郡上郡町光都3丁目1-1

兵庫県立先端科学技術支援センター

TEL 0791-58-1100

FAX 0791-58-1166

<http://www.cast.gr.jp/>

E-mail hyogosta@cast.gr.jp